



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 302  
May  
2018

## トピックス

### 国際会議への参加

#### 国連ISDRアジアパートナーシップフォーラム2018

### ●国際会議への参加

#### 国連ISDRアジアパートナーシップフォーラム2018

国連ISDRアジアパートナーシップフォーラム2018が4月24日、25日にモンゴルのウランバートルで開催されました。このフォーラムは、本年7月3日から6日に同都市で開催されるアジア防災閣僚会議（AMCDRR）の準備会合としての位置付けにあります。アジア防災センターは、この閣僚会議に対して宇宙技術、データ、情報の防災利用とGLIDE（Global Unique Disaster Identifier）を通じた貢献を考えています。

前者については、アジア防災センターは、この閣僚会議において宇宙技術機関および防災機関と協力をしてthematic side eventの企画に関心表明をしています。アジア防災センター所長は、宇宙技術の防災利用を目指すセンチネルアジアの管理運営委員会の共同議長であり、同委員会では、宇宙技術の課題とその実利用に関する問題を明らかにすることをミッションとしています。

人工衛星から得られる光学画像やSARデータを利用して、災害被害の評価を行うことで効率的な緊急対応を行うことができますが、それ以外にも、復興や事前準備の段階でも様々な用途があると考えられます。事前準備の段階では、この技術は災害についての情報収集や情報共有を通じて災害の早期警報のためのプラットフォームとして有力な手段となり得ます。また、準天頂衛星（QZSS）を通じて地域住民に直接早期警報を伝達しようという動きがあります。地上系の情報伝達手段が整備されていないような地域でも準天頂衛星を活用することで、QZSSの信号を受信する小型で簡易な機器があれば、スマホや拡声器付きのサインボードを通じて住民に直接、早期警報を伝えることができます。アジア防災センターでは、関係機関と協力して、アジア防災閣僚会議において、この取り組みを共有するとともに宇宙技術機関と防災機関の協力関係を促進したいと考えています。

GLIDEは、防災データの管理能力を強化するための手段であり、様々な

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia



**続き**

防災データベースの統合利用を促進するものです。閣僚会議でアジア防災センターは、このGLIDEの利用について関係機関と一緒に促進し、GLIDEの管理運営について柔軟性を高めることを表明したいと考えています。

**問い合わせ・配信申し込み**

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。